


提出 順番	No. 5	平成28年11月24日 午前・ 午後 1時10分受領
----------	----------	--

平成28年11月24日

幕別町議会議長 芳滝 仁 様

幕別町議会議員 東口 隆弘 

一般質問通告書

次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨
<p>1 小中学校の校舎等の大規模改修について</p>	<p>10月29日に開催された小学生議会で、児童から「学校のトイレをもっと快適で衛生的にして」という要望が寄せられたと地元紙に報じられました。</p> <p>本町では、昭和50年建設の札内中学校をはじめ、52年に古舞小学校を、53年に幕別小学校と札内南小学校を、54年に糠内小学校を、55年に札内北小学校と忠類中学校を、57年に途別小学校と忠類小学校を、そして59年に札内東中学校を建設し、大規模改修を終えた札内中学校と糠内小学校を除き、築後30数年を経過した校舎の長寿命化が大きな課題であると認識しています。</p> <p>既に耐震化工事を終わっていますが、多くの校舎は災害発生時の避難所にも指定されており、その機能保全是喫緊の課題であるとの視点から、考えを伺います。</p> <p>① 本年度の教育行政執行方針の中で、現在策定中とされた「幕別町小中学校整備改修計画」の検討経過と策定状況について。</p>

2 学校施設など公共施設の煙突用断熱材のアスベスト使用について

本年 10 月に札幌市内の小中学校の給食調理室の煙突から発がん性物質アスベスト（石綿）を含む断熱材の落下物が相次いで見つかり、一時、1 万人以上の通常給食が提供されない事態に陥りました。

文科省は、平成 26 年 3 月の石綿障害予防規則の改正を受け、同年 7 月に学校関連施設の石綿含有建材の使用の有無や劣化状況の調査を通知し、煙突については建設年次を問わずすべての煙突を対象として報告を求めていたにも関わらず、こうした事態を引き起こしたと報道されています。

すでに、本町でもアスベストを含む建材が使用されていると報道されていますが、児童生徒をはじめ周辺環境にも影響を及ぼす恐れのある石綿建材の適切な対応が急務と考え伺います。

- ① 平成 26 年及び本年 8 月に文科省に提出した町の報告内容は。
- ② 学校施設以外の公共施設のアスベスト使用状況は。
- ③ アスベスト使用が確認された場合の飛散防止措置等の改修計画は。